



学校だより

7月号



令和5年 6月30日
横浜市立三ツ沢小学校

学校行事で成長する子どもたち

校長 高木 伸之

三ツ沢のまち全体が色とりどりのアジサイに囲まれ、一層の美しさを感じさせてくれています。学校では、5月、6月と各学年の遠足や校外学習、4年生の野島宿泊体験学習や5年生の愛川ふれあいの村宿泊体験学習、そして、6年生の日光修学旅行を実施しました。水泳学習も4年ぶりに学年での実施としました。プールから聞こえる歓声は、4年ぶりに夏がきたなあと感じさせてくれています。コロナ禍での制限が緩和されたことでできるようになってきた学校行事ですが、一人ひとりの成長が実感できるところに大きな意味を感じています。

私は、先日、6年生の日光修学旅行に行きました。大量の水が流れ落ちる華嚴の滝は、上半分が霧に包まれ、全景をはっきりと見ることはできませんでしたが、その分、音や水しぶきで感覚をフルに使って、大自然の壮大さを感じることができました。木々の緑も雨に打たれることで一層鮮やかに見ることができました。二日目の日光東照宮は、久しぶりの晴天で、真夏を思わせる暑さでした。日光ならではの大自然の偉大さ、世界遺産にも登録されている神社仏閣の美しさや不思議さを思う存分味わうことができました。

1泊2日の修学旅行でしたが、子どもたちの姿を見て、私がいちばん感心したことは、子どもたちが声を掛け合って計画的に行動していた姿です。東照宮の中ではグループ行動だったのですが、時間より早く見学が終わったときの集合時間までの過ごし方も含めて、仲よく行動する姿がとても頼もしく感じられました。集団で楽しく行動するためにはリーダーシップとメンバーシップをしっかりと組み合わせることが求められます。自分勝手に行動しては活動を楽しむことはできません。そういう意味で、みんなのことを考えてリードする役割、メンバーとしてリーダーに協力する、あるいは支える役割を果たしてこそ、修学旅行を自分たちの力で楽しく有意義なものにすることができます。



今、本校では「みとめ合い、つながり合い、ささえ合い、わたしたちの未来を創ろう 三ツ沢の子」という学校教育目標に向かって教育活動を進めています。もちろん、各教科の学習内容に基づいて、確かな学力を身に付けることは大切です。この学力は数値で測ることができます。しかし、仲間と共に協力しながら、あるいは、違う意見には折り合いを付けながら、よりよく生きていくことも本校の目指したい姿です。これは数値では測れません。横浜市の教育施策では、子どもが身に付ける力として数値で測れる力を認知能力、数値で測れない力を非認知能力として位置付けています。本校では、学校行事ならではの豊かな体験を重ねることで身に付く非認知能力にも視点を当て、バランスよく教育活動を進めてまいります。

各地域、各ご家庭でも、数値に現れないお子様の成長する姿を、ぜひ見ていただき、あたたかなお声掛けをしていただけるようお願い申し上げます。